



校訓

強い心

強い体

玉造中学校だより No 12  
令和4年2月1日 発行

在籍:男143:女145 計288名

## 1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」

年が明け令和4年となり、3学期がスタートしましたが、早くも2月の声が届きました。茨城県が新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置の適用を受けました。学校では、さらに「感染症予防対策」を徹底するために再点検して、取り組んでいます。茨城県の感染状況も、連日増加傾向にあり、安心できる状況にありませんが、玉中では陽性者が出ていません。これは、学校はもちろん各ご家庭で感染症予防対策に取り組んでいるおかげです。感染症対策に関しては厳格な医療従事者の方々でさえ、陽性者が増え、医療がひっ迫している状況もあります。今の感染症拡大状況から考えて、対策をしても感染してしまう可能性があるということです。今私たちにできることは、学校と家庭とが、同一歩調で感染症予防対策を実践し、これ以上感染を広げないように努力をしながら生活をするのだと考えます。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

寒さを物ともせず、元気に自転車で登校する生徒が多いことは、玉中生の「自立」の姿で、本校の自慢の一つです。「雨でも自力で登下校するのが当たり前」と感じて実践している生徒とその姿を温かく見守り、支えてくださる保護者の皆さんの関わりがあってこそ、今の玉中生の姿があります。先日保護者の皆様にご協力いただいた学校評価のご意見の中に「冬の時期や雨の日のあいさつ運動は見ている可哀想になる。」というものがありました。もしかすると、見た目にはそのように映るかもしれませんが、そのようなお気持ちもよく分かります。けれども、この活動は、生徒会のメンバーが「玉中を明るいあいさつでいっぱいになりたい」という願いから自分たちで考え、実践している活動であるということもご理解いただければと思います。

先日、入学説明会がありました。生徒会のメンバーが、新入生とその保護者に向けて、中学校生活の様子やきまりについて、プレゼンテーションソフトを使って、わかりやすく説明してくれました。新入生には、玉造小学校とオンラインでつないだ説明だったので、できるだけ一方的にならないように、クイズを取り入れている様子に感心しました。学校のリーダーですから、「これくらいできて当たり前」と思われるかもしれませんが、勉強や部活動に忙しい合間を縫って、説明の練習をしています。それは、自分が失敗しないため…というより、どうしたらわかりやすく説明できるか…という他者意識と責任感による取組です。堂々と説明している姿がすばらしかったです。そして、新入生の入学を心待ちにしていることが部活動紹介のメッセージ動画からも伝わってきました。

中学校の3年間は、「自立」に向けて一歩を踏み出す準備期であると考えています(入学説明会で話をしました)。本校の教育目標の「自立貢献」はこの考え方がもとになっています。勉強の仕方も、「答えのある問題を解いて、その答えを覚える」よりも「答えのわからない問題を、友だちと協力して意見を交わし、答えを見つける」方がより大切になってきます。また、仲間との交流で、様々な価値観に触れ、正しさとは…、誠実さとは…、思いやりとは…等々について考えを深めていきます。また、将来の夢や生き方について真剣に考えはじめます。まさに、大人の入り口に立っています。その子供たちに、私たち大人がどのように向き合うかを家庭と学校、地域がそれぞれの役割を果たしつつ、連携を深めながら、関わっていくことが大切だと考えています。コロナ禍にあって、このことがおろそかにならないよう玉中では、感染症予防対策をしながら「今できること、こんな時だからこそできること」を模索し、工夫を凝らしながら、教育活動を行っていきます。

## 【写真で振り返る 1月の玉中】

久しぶりの大雪で、玉造中が雪化粧されました 1/7



始業式は、校長室よりリモートで実施しました。各学年の代表者による目標の発表がありました



令和4年度新入生入学説明会 生徒会が中心となって説明し、6年生はオンラインで参加となりました。



生徒会のあいさつ運動

総合的な学習の時間の発表 なめテレの取材がありました。





